

何カト連絡先軍部ニ刻令セラシム事ハ其ノ
 節存之ニシテ無カシムハ外ニ各統ヲ為シ難
 著トシ事例ニシテ期一妙事例カ至那側ヲ
 シテ常ニ築セシムル態トナリシ緒意ニ付テハ御承
 知ノ通トシニ付テハ海軍側ニ對シ憲ト御申聞
 相成度夫レトモ右訓電ニ段シ意旨 本者
 ニテ御意ミ一上ノ事ナリ其旨折込ニ御電
 報アリシニ

MARUZEN II
 P.V.M. 55 296

田中外務大臣
 奉天 一月 五日 前着
 東 總 務 事
 第 八 号
 四時迄取ノ使者トシテ王家核束ニ訪シ御人
 者ニ下ニ特訪申上テハ中核命事ヲ答テ日ニナ
 ルカ強不在ナリシ付テ本日御伺ニシヨリ決テナ
 トノ前控ノ下ニ局職ニ付テハ下ノ前長自身貴
 官ニ對シテ面述存下ニ打合セ置キヨリモナリシ
 意同人ハ病氣ニテ其ノ儀ニシテハ又控テ
 事前ニ何事申上リ下ニ無キハ貴方ヲ無

MARUZEN II
 P.V.M. 55 297

視し日ハ女中抄トナリ日ハ遺儀ナリ然レトモ學
 習トシテ右ノ如ク日本側ヲ度外視スルカ如ク
 意思ハ先頭無カリシモノナレハ此點抑録知リ
 日シトナリ及後釋解シ見カ右ハ修電牙七女
 女所新學長ノ意註トモ異ク先モ裁意無中
 之ノ人親シクニ付本官ハ左様ノ言辯ハ今更何
 等ノ意^義為サスト撥付ケ置^キル
 MARUZEN II

P.V.M. 53 298

日本外務大臣
 奉 天 一 月 七 日 往 着
 井 總 領 事
 第一二号
 修電牙七号ノ際
 貴林申儀ハ当地特務機關ノ修電儀
 六日奉^テ日^ニ付前電當方ノ意^旨ニ
 又來日奉^テ日^ニ付修電同電^ニ無^キニ^解
 務同中修^リ修^メ相^ハ一^申入^レハ^方留^ク見^合
 井^中官^一應^申開^ケ日^ニ明^カ新^章一^町燈
 力江藤ノ考^テ張^テ學^長、張^テ他^相張^テ景^意入
 MARUZEN II

P.V.M. 53 299

楊選等ト會見ノ鉄道問題ニ関シ折衝ノ結果
 必スシテ好望ノ見込ナクナリテハ換符ナラズ
 本官ヨリ同中終ニ依頼シ務作組ニ私人トシテ日
 本側空氣ノ如何ヲ借ル事トシテハ如何
 今ヨリ本官ノ依頼ニ依ルニシテ決シテ外交
 系統ノ無為ヲ許スルコトナラズ事ヲ注意シ置
 ケリ

MARUZEN II P.V.M. 53 300

奉天 一月九日 前 署
 同中外務大臣 井總領事
 第一四号
 貴電第一二号ニ関シ
 御申越ニ依リ了解セシ陸軍顧問等ニ對
 スル此ノ種ノ指示ニ関シテ公先官憲機關ヲ通
 セルコト本官当地赴任前特ニ書面ヲ以テ陸
 軍當局ニ對シ一般的了解ヲ取付ケル事ニ
 之ナラズ密年大臣密報第一四号ヲ以テ特ニ御

MARUZEN II P.V.M. 53 301

末系ノ次分ニヤハ精ヲ斯クスルノ必要ナシ
 付テハ貴官ニ於テモ強體弱ノ事ナシハキカト
 也レ身今後此ノ體ノ事項ハ本官ヨリ願
 答ニ對シ指及セシムカサリトモ事爾本官
 トシテ何事御申聞ニ係ル貴官ノ御配
 ヲ得度也

2

MARUZEN II

P.V.M. 55

302

REEL No. A-0783

